

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	美容×医療福祉「アビランスサポーター」
事業名(副) ※任意	高齢者やがん患者を支える福祉美容プロ人材

入力数 主 20字 副 20字

実行団体名	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会
資金分配団体名	新型コロナウイルスの影響により仕事を失った若者支援のためのコンソーシアム

## 優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
<input type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>	
------------------------	--------------------------	--

入力数 0字

## SDGsとの関連

<b>ゴール</b>
8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する

実施時期	2021年2月 ~ 2022年2月	事業対象地域	全国 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> 愛知県、東京都 <input type="checkbox"/>	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	愛知県、東京都近郊で新型コロナウイルス感染拡大により仕事が減った理美容師及びネイリストやエステシャンなどの美容関連職種の人材、またデパートなどに勤務している美容部員などの美容関連職種に従事していた若者	事業対象者人数	13名
------	-------------------	--------	--	---------------------------------------	--	---------	-----

## I. 団体の社会的役割

<b>(1) 申請団体の目的</b>
「誰もがその人らしく美しく過ごせる社会の実現」を目指し、医療・介護・美容・ファッションなどの多職種の専門家が、企業・大学・行政などセクターの壁を超え、得意を活かして社会貢献する活動を続け、高齢者・障害者・がん患者等に対する支援を広げている。また同時に各分野の担い手となる専門人材（特に子育てや介護で動きにくい環境にある女性）を育成する。
<b>(2) 申請団体の概要・事業内容等</b>
<input type="checkbox"/> 高齢者・障害者等の介護施設・自宅への訪問理美容 <input type="checkbox"/> 上記訪問美容を行う理美容師の養成 <input type="checkbox"/> がん患者向けのアビランス（外見）サポートセンターの運営 <input type="checkbox"/> がん患者・脱毛症患者向け医療用ウィッグの製造・販売 <input type="checkbox"/> 知的障害者向け身だしなみ支援 <input type="checkbox"/> 企業・大学と連携した介護施設でのレクリエーション支援

入力数 (1) 168字 (2) 145字

## II. 事業の背景・本事業において取り組む社会課題

<b>新型コロナウイルス感染症による課題の深刻化の状況と事業を実施する地域の課題</b>
特に都市圏において新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面接触型のサービス業（在宅ワークが困難な職種）である美容室やネイルサロン、エステサロン等の客数が激減、倒産件数も過去最高（帝国データバンク調べ）。また、デパートの化粧品売り場などでも外国人観光客の売上が激減し、特に技術や接客のスキルが未熟な若手人材、またシングルマザーや子育て中の女性は、急な休校などに伴う欠勤などを理由に、解雇の対象となりやすく、特に非正規社員の場合、シフトには入れず給与が減少しやすい。
弊協会のサービス受益者である高齢者や患者サイドでは、感染リスクが最も高い層として、日タストレスと孤独に晒され続け、QOLもADLも低下してきており、オンラインでのサポートや在宅への個別訪問などのニーズが拡大している。
全国25万軒を超える美容サロンのうち、訪問理美容実施率は12%（リクルート調べ）あまりと、まだまだ供給不足状態である福祉理美容分野で活躍できる若手人材を育成し、人材の流失を防ぐことは離職率が高く人材の課題を抱える美容業界としても喫緊の課題である。
レセプション（受付）や化粧品の販売員など技術を有さないスタッフ（特に女性が多い）のキャリアパスとして医療や福祉の専門性を持ち、お客様のカウンセリングを行うこと、美容師をマネジメントし、医療介護現場のニーズをマッチングできる人材を養成することは、今後の高齢社会における美容業界のビジネス展開という点からも美容の仕事の幅を広げ、産業発展にも寄与できる。

入力数 640字

### III.事業内容

#### (1)具体的な就労支援対象者

- ・理美容有資格者—スタイリストになる前のアシスタント時に美容室を辞めてしまった有資格者やコロナによる客数減によりシフトカットされているアイリスト等
- ・ネイリストやエステシャン—高校中退後ネイルスクールに通い、アルバイトでネイルサロンに入ったが、コロナの影響でお店が倒産した
- ・デパートなどでの化粧品販売担当者—インバウンドの減少により、シフトを減らされたり、失業している化粧品や美容グッズの販売員

入力数 198 字

#### (2)就労支援プログラムの構成

理美容免許有資格者は①③④の受講が可能、それ以外の者（ネイリストやエステシャン、美容部員など）は②のみ受講可能

##### ①訪問理美容師コース（3ヶ月）

基礎の美容技術のテストを行い、個別の訓練計画を作成、スタイリスト歴の浅い者でも、高齢者の施術に特化したカット（ショートやバリカン、寝たきりカット）等の技術研修で短期の技術習得を目指す、また、認知症対応や介護の基礎知識研修を実施。介護施設や在宅でトレーナーとともに訪問美容実習を行う。

サロンでの長時間勤務では仕事が続かない、手荒れが酷くてシャンプーや薬剤を使用できないなど様々な事情により免許を持ちながらも業界を離れている者での活躍が可能に。

##### ②アピアランスサポーター2級コース（3ヶ月）

髪（医療用ウィッグ）・肌（カバーメイクや治療中に使用できるシールタイプまつげエクステ施術）・爪（ネイルケアやシールタイプネイル施術）に現れる副作用に対する美容ケアの技術と知識を全般的に学ぶ。

技術スキル不足でも簡単に施術ができる商材を活用し、仕事の幅を広げる。医療用ウィッグの試着や説明などに特化して、オンラインカウンセリングにも対応できるプロの販売員を育成する。医療用ウィッグ通販事業部での在宅ワークなども可能に。

##### ③アピアランスサポーター1級コース（3ヶ月）

上記2級に加えて、医療用ウィッグのカットやヘアアレンジなど施術に特化した研修。施術単価が通常美容室の2倍以上確保でき、短時間勤務や通販事業部での在宅ワークも可能に。

##### ④福祉理美容師コース①+③（6ヶ月）福祉理美容全般の技術と知識、マネジメントを学ぶ。受講後、地元での起業も見据えて支援。

入力数 694 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
①収入が減った美容関連領域の若者従事者が福祉理美容の現場でインターンをする事で、要介護者やがん患者等の課題解決にも寄与する ②報酬を支給する ③事業参加者が美容領域の技術力を向上させ、また、福祉理美容の知識やカウンセリング能力を取得する ④事業参加者が美容+医療福祉の領域で新しい働き方で仕事を得る、または収入が増える、起業する。	①事業参加者数、事業実施時間数、実習先施設数や施術人数 ②支払い金額 ③技術テスト合格者数、福祉理美容知識テスト合格者数 ④職を得た人数、副業などで収入が増えた人数、起業した人数	①実績数のカウント ②支払い金額のカウント ③テスト結果 ④実績数のカウント	①事業参加者数・事業実施時間数・/1 3人・週30時間・12週 実習先施設数10施設 ②支払い金額 753万円 ③テスト合格者数13名 ④職を得た、収入が増えた、または起業した人数7名	①～④ 2022年2月

#### (4)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態

本事業実施のノウハウを活用し、2022年長久手市に開設予定の福祉複合拠点にて行政とも連携しながら事業を継続、美容業界団体、介護職の若手従業員の研修の有料請負等によって、介護職従事者へもアピアランスサポートに関する研修を拡大し、スキルチェンジとして美容⇄介護職の双方向の転職の支援による人材の流動化も見据えている。

高齢者や障害のある方、がん患者などが自分らしく地域で社会生活ができることを目指す。

入力数 198 字

#### (5)スケジュール

	時期
参加者の募集、事業告知	2021年2月～
研修教材、感染症ガイドライン、動画撮影などの作成、カリキュラムの準備等	2021年2月～4月
第1期参加者面談、スキルチェック、受講コース決定、個別指導計画作成	2021年2月～4月
第1期参加者キックオフミーティング	2021年5月頭
①②③初期研修実施	2021/5/1～5/31
①②③介護現場、アピアランスサポートセンター実習実施、就職先紹介	2021/6/1～7/31
第2期参加者面談、スキルチェック、受講コース決定、個別指導計画作成	2021/5/1～7/31
第2期参加者キックオフミーティング	2021/8 初旬
①②③初期研修実施、④受講生は研修継続	2021/8/1～8/31
①②③介護現場、アピアランスサポートセンター実習実施、④受講生は研修継続、就職先紹介	2021/9/1～10/31
研修予備期間、事業まとめ、報告書作成等	2021/11/1～2022/1/31

### IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割（資格、経験年数を含む）	事業責任者：岩岡（美容師、ヘルパー2級、福祉理美容歴15年以上、がん患者サポート2000名以上、大学での非常勤講師歴8年） 事業マネージャー：中浜（ケアマネージャー、介護業界勤務歴5年以上） 実習トレーナー：園田（美容師・福祉理美容歴15年以上）川端（美容師・福祉理美容歴5年）
(2)他団体との連携体制	100施設以上の訪問先介護施設での現場実習受け入れ、10病院以上のがん拠点病院とのオンライン相談会実施、パートナー美容室120軒、JBCAやリラクゼーション協会など美容業界団体への受講生募集告知と研修後の就職先紹介。リクルートライフスタイルホットペッパービューティーとの連携など。
(3)想定されるリスクと管理体制	実習先にて高齢者、がん患者等のハイリスク群へのサービス提供を行う上で、公衆衛生の研究者（名古屋大学平川医師）の指導のもとガイドラインを作成し、感染症対策を徹底する。

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無			
コロナウイルス感染症に係る事業			
①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）	
(2)申請事業に関連する実績			
<p>「訪問理美容スタートブック」「美容室でできるアピアランスサポート」等の書籍4冊の出版、訪問理美容契約介護施設数100以上、病院内での定期患者相談会実施病院10以上（がん拠点病院等）、アピアランスサポートセンターあいち（がん患者専門ビューティーセンター）（2015年～）、TOKYO（2018年～）の運営、医療用ウィッグ取り扱い研修済みパートナー美容室120軒、リクルートホットベッパビューティーとの協働事業「訪問美容ゼミ」（半年程度のマネジメント研修伴走支援）での訪問美容師人材育成事業卒業生50名以上。</p> <p>訪問理美容歴35年。延べ施術人数15万人。美容師への給料支払い実績（時給2100円以上）、がん患者へのアピアランスサポート提供実績延べ3000名以上。</p>			